



第 4 2 号
平成 19 年
5 月 発 行

心を受容する対話

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長

須田

寛

一般に、高齢者は孤独に耐えても、孤立は耐えにくい、と言われていきます。つまり、一人で行っているのはさほど淋しく思わないのに、大勢人がいる中で仲間はずれにされたり無視されたりするのは、たまらなく辛く思えるのであります。物忘れが多くなり、少々認知症の症状がでて、意思の疎通が妨げられると、孤立感が強まったり、欲求不満を生じやすくなるものです。そのため、やたらに食べ物が欲しくなったり、しつこく話しかけたり、徘徊したりします。人騒がせな問題行動を心ならずもしてしまうこともあるのです。これを抑止したり、しないように説得しても、心の底に不満や不安がある限り止まないので。まず、心を満たす対話をする必要があるのです。

心の触れ合いをもつには、相手が言った言葉を山びこのように復唱する「山びこ式対話法」をすすめるのがよい方法です。これは、認知症の方だけでなく、どんな人にも活用できます。山びこ対話は、情報を確認するのにも役立ちますが、何よりも相手の言葉を復唱することで相手の感情が伝わってきます。人は自分の気持ちを受容してくれる人に自分を語ろうとするので、情報も得やすくなりますし、信頼関係も深まっています。こちらが受身で聞くのではなく、積極的に感情を受容しつつ、やさしく質問し聞こうとする態度が大切です。

認知症の方は、こちらの質問にまともに答えてもらえないことも多く、情報は得にくいのですが、感情の交流は、相手の言葉を復唱することでかなり進みます。知的機能は低下しても感情の働きはよく残っているからです。相手を尊重する態度で対話す



5月8日(火)連休明け、春の陽気に恵まれ気持ちの良い日でした。職員が裏山から「ヤマブキ」を収穫し、入居者の皆様に御協力いただき調理する事に致しました。手を真っ黒にしなが、楽しそうに皮むきをしているところです。こんなに沢山採って来たのに、あっという間に皮をむいてしまい「もっと採って来なさいよ」と言われる始末、再度裏山に収穫に行く事になりました。皮をむいたフキは「煮物」にして美味しく頂きました。

れば、内容は通じなくても緊張感や不安感をやわらげることができるようになります。認知症が進むと、情緒が不安定となったり自己防衛的になったりします。医療での診察時や、福祉施設での介護時には、おどおどしたり、「わたしはどこも悪くない」と言ったりします。そんなときも、「そう、どこも悪くないんですか」と、微笑みながら肌にふれていく。心がかよえば、診察や介護にもよく応じてくれるようになります。「望洋荘」の全ての職員はどの職場であれ、入所様に優しい言葉と温かい手の触れ合いをしてあげて下さい。

「子供みこし」 豊間子供会

五月四日(金)豊間子供会の皆さんが「子供みこし」を担いでやって来ました。子供みこしも今年で三回目を迎え、毎年元気な子供達に合えると楽しみにしています。昨年までは、施設の中で子供みこしを担いで頂きましたが、今年は正面玄関前の青空の下で、威勢の良い掛け声と活気あふれる若い力に、入居者様も元氣付けられました。それから入居者全員へ心温まるプレゼントまで戴きありがとうございました。機会があればいつでも遊びに来てください。



「母の日を祝う会」

五月十三日(日)の母の日に午前と午後に分けて全ユニットで母の日を祝う会を開催致しました。各ユニットの代表者にカーネーションの鉢植えの贈呈あり、入居者様全員に、それぞれ職員手作りのプレゼントが贈られました。入居者様から「ありがとう、うれしいね」と大変喜ばれました。余興としては、職員によるハンドベル演奏等もあり、大いに楽しまれました。最後に入居者様から今日のお礼にと歌を披露するという場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。



「フラワーセンター」 豊間

五月二三日(水)午前十時より豊間ユニットの入居者様7名で「フラワーセンター」に行ってきました。当日は天候にも恵まれ絶好の見学日和でした。いろんな花を眺め、春の季節を感じて頂いたと思います。「元氣な頃はよくフラワーセンターに来たんだよ」と懐かしがる方も居られました。帰りには「塩屋崎灯台」に立寄り、美空ひばり記念碑の前で海を見ながらアイスクリームを食べて来ました。とても充実した一日でした。



「いわき寄席」出演者の色紙集から

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。
入船亭 扇遊 師匠の作品です。

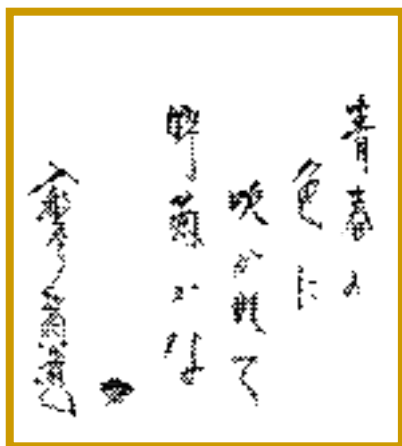
○第一 回記念いわき寄席 平成元年八月二三日
○第八二回記念いわき寄席 平成十五年九月二十日

(演目) 浮世床、子ほめ、らくだ
(演目) お菊の皿、天狗裁き、明け鳥

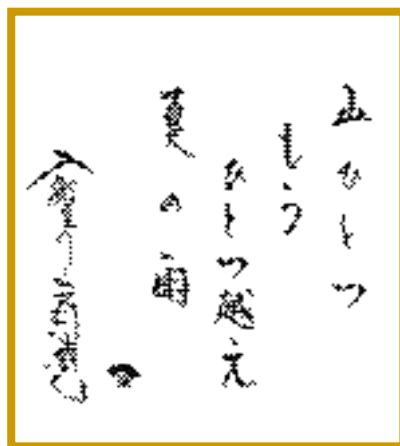
春風亭 一朝 師匠の作品です。

○第十回記念いわき寄席 平成三年二月十九日
○第三十回記念いわき寄席 平成六年八月二三日
○第七二回記念いわき寄席 平成十四年一月二四日

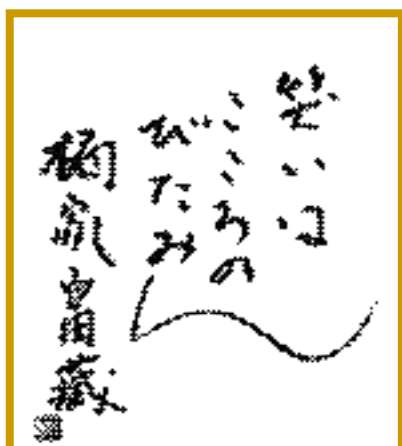
(演目) 妾馬、二番煎じ
(演目) 宗論、天災
(演目) 幣間腹、芝居の喧嘩、片棒



入船亭 扇遊 師匠
(第1回いわき寄席 H元.8.23)
青春の
色に 吹かれて
野菊かな

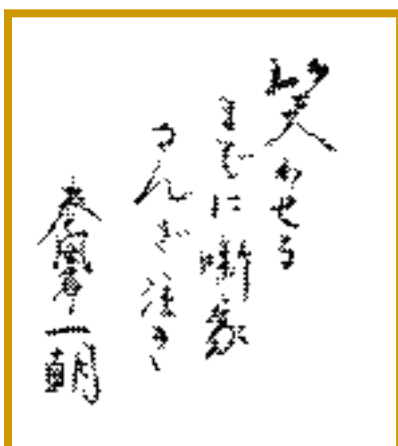


入船亭 扇遊 師匠
(第1回いわき寄席 H元.8.23)
山ひとつ
もう ひとつ越え
夏の雨

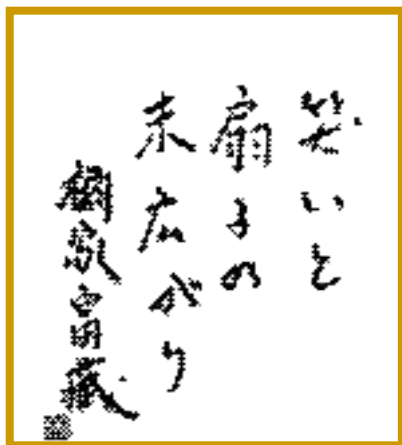


橘家 雷蔵 師匠
(第78回いわき寄席 H15.1.22)
笑いは
ころの
びたみん

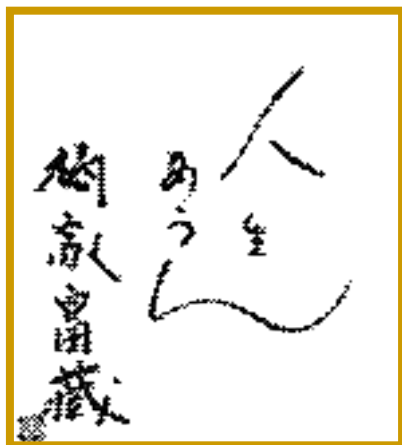
橘家 雷蔵 師匠の作品です。
○第七八回記念いわき寄席 平成十五年一月二三日
○第九二回記念いわき寄席 平成十七年五月二三日
(演目) 町内の若い衆、うどん屋、五人廻し
(演目) ちりとてちん、宿屋の富、試し酒



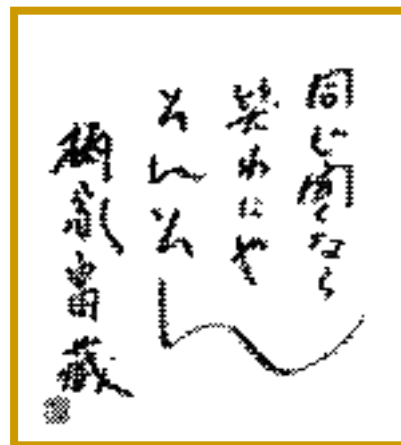
春風亭 一朝 師匠
(第10回いわき寄席 H3.2.19)
笑わせる
までに噺家
さんざ泣き



橘家 雷蔵 師匠
(第78回いわき寄席 H15.1.22)
笑いと
扇子の
末広がり



橘家 雷蔵 師匠
(第78回いわき寄席 H15.1.22)
人生 あうん



橘家 雷蔵 師匠
(第78回いわき寄席 H15.1.22)
同じ聞えなら
笑わにや
そんな

「暮らしの伝承郷」 永崎ユニット

五月二十五日（金）午後から永崎ユニットの入居者様五名で中央台にある「暮らしの伝承郷」に行ってきました。当日はあいにくの雨だった為、館内で「じゃんがら」や「獅子舞」の映像をみたり、いわき市の風習や昔の暮らしについての展示物を見学しました。「昔はこうだったな」「うちにもじゃんがら来たんだよ」など入居者様も昔を思い出し懐かしがっていました。今回は天気の良い日に行ってもっとたくさんの物を見学したいと思います。



六月の行事予定

六月六日（水）午前九時三〇分～十一時四五分
勿来ユニット「買い物とドライブ」

六月十日（日）午前の部十時～
午後の部二時三〇分～

全ユニット「施設内ショッピング」

六月十三日（水）午前十時～

薄磯ユニット「買い物・外食ツアー」

六月十七日（日）午前十時～

全ユニット「父の日を祝う会」

六月二十八日（木）午前十時～午前十一時

正面玄関ホール・塩屋岬広場
「キャプテン船水」ハーマニカ演奏

【六月のお誕生会予定】

六月八日（金）午前十時～

薄磯 佐藤ケサヨ様（九四歳）誕生会

六月二一日（木）午後三時～

勿来 有田志ゆう様（八六歳）誕生会

六月二四日（日）午後二時三〇分～

薄磯 稲村 マサ様（九五歳）誕生会

六月二五日（水）午後二時三〇分～

薄磯 齊藤 祥子様（七五歳）誕生会

六月二五日（月）午前十時～

四倉 大橋マキ牛様（八六歳）誕生会

六月三十日（土）午前十時～

勿来 國分 桂子様（七九歳）誕生会

「医療受給者証」についてのお願い

毎年この時期に医療受給者証の見直しがございます。前年度の世帯所得の変動より、医療費の負担割合が変わる場合があります。もし、医療費の負担割合が変更になった場合、医療受給者証を必ず施設へお持ち頂きます様お願い致します。

重度心身障害者（一級から二級）の認定をお持ちの方についても毎年六月に新しい「重度心身障害者医療費受給者証」がご自宅に送付されて来ます。ご自宅に届きましたら、施設へお持ち頂きます様、併せてお願い致します。

今月の言葉その（倫理研究所編纂語集から）

やる気のあるところに
知恵が湧く

知恵は無限に湧く。湧かないのは本気になって取り組まないとしないからだ。自らの中にある無限の力を信じよう。何としてもやりぬこうと思えば無尽蔵の力が湧き出てくる。

編集後記

『望洋荘』便り

平成十九年五月三十一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話

FAX (0246) 55-7373
(0246) 55-7255